

研究名： 当院における虫垂切除術の安全性の後方視的検討

1．研究の目的

虫垂炎に対する3孔式腹腔鏡下手術は標準術式となっていますが、更なる整容面の向上を目指して経膈的単孔式腹腔鏡下手術（TULAA）を導入している施設も多くなってきています。当院は2022年7月から徐々にTULAAを導入して、現在は第一選択術式としています。ただ、術式移行の安全を検討した研究はあまりありません。術式移行の安全性を検討するため、従来法とTULAAの短期的な手術成績を比較する。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2022年4月～2023年6月までに虫垂切除術を施行された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月

研究方法：対象患者さんの診療録を用いて、背景（年齢、性別、身長、体重、など）、手術成績（手術時間、術後合併症、入院日数、再手術の有無など）について術式群ごとに差があるかどうかを、統計学的解析を行い検討します。

3．研究に用いる情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重など）、手術情報（術式、手術時間など）、術後成績（術後合併症、入院日数など）

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに解析が終了している場合にはデータの削除が困難となる可能性があります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 藤雄木亨真
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7176）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 藤雄木亨真